

## 令和5年度第4回坂井市子ども・子育て会議 議事概要

|     |  |
|-----|--|
| 日時  | 令和6年2月21日（水） 午後7時～   |
| 場所  | 坂井健康センター1階ホール  |
| 出席者 | 委員：石川会長、武田副会長、伊藤委員、西村委員、中嶋委員、伊東委員、<br>橋本委員、片山委員、勇上委員、盛岡委員<br>事務局：森瀬部長、栗原課長、佐藤課長、結城参事、河原参事、<br>細川課長補佐、矢尾参事、井上課長補佐 |
| 欠席者 | 委員3名、事務局1名   |
| 議題  | (1) 令和6年度教育・保育事業、放課後児童クラブ事業申込状況等について<br>①教育・保育事業について<br>②放課後児童クラブ事業について  |
| その他 | (1) ニーズ調査結果について（件数等報告）   |
| 資料  | 資料1-1 令和6年度保育園等入園児童予定数<br>資料1-2 令和5年度・令和6年度保育園別 新規入園希望者状況一覧<br>資料2 令和6年度放課後児童クラブ登録児童数                            |

### 1. 開 会

### 2. 会長あいさつ

#### 【会長】

能登半島のほうで大きな地震が起き、大変気になっているところである。

昨年12月に国から「こども大綱」が出され、「こども基本法」の施行と併せて「こどもまんなか社会」に向けたさまざまな政策がこれから出てくると思う。どの市町も「こどもまんなか社会」に向けて、さまざまな取り組みがなされていくことと思う。引き続き委員の皆様には、ご理解とご協力を賜りたい。

#### 【会長】

出席委員数の確認。13名のうち3名欠席。過半数以上の出席のため会議を開催。傍聴人なし。

### 3. 議題

(1) 令和6年度教育・保育事業、放課後児童クラブ事業申込状況等について

①教育・保育事業について <資料1-1、資料1-2>

②放課後児童クラブ事業について <資料2>

#### 【事務局より説明】

#### 【会長】

2つの議題について続けてご説明をいただいた。最初に1つ目の「教育・保育事業」についてのご質問・ご意見をお伺いしたいと思う。資料1-1と1-2に関連して、いかがでしょうか。

**【会長】**

資料1-1「保育園等入園児童予定数」について、受け皿としては、きちんと収まるという、これで待機児童が出るような見込みはないという理解でよろしいか。

資料1-2「保育園別 新規入園希望者状況一覧」について、私立の11番の園だが、希望数と入園予定者数は合っているのか。

**【事務局】**

待機児童が出る見込みはない。また、ご質問の私立園については、新規の0歳児の枠に対しての申込数であり、そのように理解していただきたい。

**【委員】**

春江の民間3カ所で、相当数が第1希望に入れなかったということだが、保護者から市に対して何か、意見とかいろいろなかったのか。

**【事務局】**

保護者の方には第1希望から第5希望まで書いていただいているが、市で優先度の点数を付けて調整し、説明させていただいているので、特に大きな意見をいただいたということはない。

**【委員】**

春江小学校近辺では団地造成がすごく多くなっている。私どもの保育園も建物の構造上、乳児はそんなにたくさん入れないということもある。市に対していろいろ協力はしたいと考えているが、こんな状況であるので、情報があつたら早めに教えていただけるとありがたい。

**【委員】**

0歳から2歳の、お子さんの預け先という点について伺いたい。今、0歳から2歳、受け入れていなくても、今後、市としてももう少し増やす見込みがあるのかどうか、教えていただきたい。

**【事務局】**

公立園については、小さいお子様を預かるとなると、施設の改修などが必要になる。今のところ、小さい子を受け入れる予定はない。

**【事務局】**

補足するが、公立の春江東幼保園と春江幼保園については、もともと学校に併設している幼稚園舎を使っている。建物自体に給食室がなかったり、小さい子を預かる部屋がなかったり、出だしが3・4・5歳児だけの、保育園と幼稚園の子どもを預かるということでやっているため、今のところ、受け入れを増やすことの対応は難しいと考えている。

**【会長】**

令和6年度中の年度途中の入所に対しては、どれくらい余裕というのか、見込みというのか、受け入れは大丈夫だろうか。

**【事務局】**

本市では、今、生まれていなくても、お腹の中にいる子も含めて当初入所の申し込みをしていただいております。途中入園の子や育休明けも含めて、このような調整した数字になっているとお考えいただきたい。なお、申し込み以降に子どもができた方については、空いている所を紹介する対応をしている。

**【委員】**

春江地区は多いとのことだが、春江地区の中で収まったのか、春江地区外の所にも入園するようになったのか、情報があつたら教えてほしい。

**【事務局】**

表にも記載しているが、春江の公立園の第2希望から第5希望とか、それ以外の所の人数が多い形になっている。ただ、第2希望以降に町外の園を書いていた方もいるため、そういった方にはそのように案内をしている。

**【会長】**

それでは次に、2つ目の「放課後児童クラブ事業」、資料2について、ご意見・ご質問をいただきたい。

**【会長】**

前年よりも101人増えたとの報告であった。昨年も受け入れとしては厳しかったのではないかと思うが、さらに101人増える見込みで、その点、大丈夫だろうか。

**【事務局】**

そのとおりで、なかなか厳しい状況にある。全体的に子どもの数は減っているのに児童クラブの利用者数が増えている。高学年帯で継続する子が増えているのが要因である。

施設規模的にも本当に厳しいところで、児童クラブ側としては空いている所でやるという考え方である。今ある施設で足りない場合は、新たに学校に協力を得ながら空き教室を借りたりするなど、臨機応変に対応していかなければならなく、地域によっては瀬戸際のところにいるイメージである。

**【会長】**

空き教室とか、小学校のご理解はいただけるのか。うまくいっている所と、なかなかうまくいかない所とがあるようだが、坂井市ではどうか。

**【事務局】**

現在、25クラブ中、8クラブが学校校舎を利用しており、ご理解をいただいている。今後も教育委員会と話しながら、また、学校の校長先生とも話しながら、協力を求めていきたいと考えている。

**【委員】**

1年生で総数486人、2年生で541人、3年生で464人という数字が出ているが、児童の数に対する割合は、やはり3年生になるとだんだん減ってくるのだろうか。

**【事務局】**

令和6年度では、1年生で64.37パーセント、2年生で64.51パーセント、3年生で51.01パーセント、4年生が38.26パーセント、5年生で18.24パーセント、6年生で6.09パーセントの割合で、児童クラブを利用したいと申し出ている方たちとなっている。

**【委員】**

1年生で486人というのは、希望されている方ほとんど受け入れできているということか。

**【事務局】**

はい。児童クラブにおいても、今のところ待機児童は出ていない。

**【会長】**

それでは最後に、一言ずつどんなことでも結構なので、ご発言をお願いしたい。

**【委員】**

児童クラブについて、希望一つ挙げさせてもらおうとすれば、先生方の中に男の方がいらっしやらない。ちょっと若い先生とか、男の先生とか入れてくださるとありがたいと思う。

**【委員】**

放課後児童クラブの現状などを聞かせていただき、放課後の過ごし方というのが昔とは変わってきているなとすごく感じた。また、ニーズ調査にも協力させていただき、自分の子の意見を聞くことができた。

**【委員】**

資料1-1の一番下に私立幼稚園がある。最近、子どもが本当に少ない。そこに通わせている親としては、ちょっともったいないなと思っている。特色のある取り組みをしている所なので。

子どもが増えるいい案ないかなと思い、先生とも相談しているところで、他の園は多いなと思いつつ話を聞かせていただいた。

**【委員】**

児童クラブのことを教えてほしい。児童クラブは、そもそも預かるのが目的なのか、何かを教えたりとか教育したりとか、そういうのが目的であるのか。

**【事務局】**

児童クラブは働く保護者の支援機関という形で、子どもを預かり、家庭で過ごすように児童クラブで過ごしてもらおうというようなイメージである。何かを教えるとか指導するとかという考え

はない。指導員は、子どもたちが安心・安全に児童クラブで過ごせるように見守ってあげるとい  
うのが、児童クラブでの基本的な考え方である。

#### 【委員】

上の子が児童クラブに通っているが、家に帰ってきたときに、児童クラブでやった宿題を見る  
とうまくできていないことが多い。できれば、先生方には、そのへんをもうちょっと言ってもら  
えるとありがたい。

それと、子どもが落ち込んだり、泣いたりして帰ってくることも多々あるので、人数が増えて  
きたというのもあるし、そういう中身のことも、もうちょっとしていただけるとありがたい。

#### 【委員】

2つ、お話をさせていただきたい。1つ目は資料1-1についてだが、母親同士の話の中で、  
0歳から2歳児で、春江で入れる園が非常に少なく、自分の家から少し離れた場所に入れなく  
てはいけないというような声を聞くことが多い。そういった点を今後、生かしていただい  
たらと思う。

2つ目は、児童クラブの件である。自分の子が長期休暇で利用させていただいているが、朝か  
ら晩まで同じ施設内で過ごさなくてはいけないというのが非常につらいと漏らしたことがある。  
場所はあるし、定員も満たされているような状態の中で、どのように質を上げるのかというこ  
ろについて検討いただけたらと思う。

#### 【委員】

子育て支援センターを利用しに来てくださっている方々と入園のことについて話していたとき  
に、第1希望で入れたという方が多かった。兄弟で一緒に入れるように頑張っている方もいて、  
よかったなと思っている。

#### 【委員】

通勤途中に春江地区を見ると団地が増えてきている。いろいろ便利になってきているし、園を  
希望する子がまた増えるのかなという思いがある。

#### 【会長】

ひと通りご意見をいただいたので、事務局からお答えできるような内容があれば、お願いした  
い。

#### 【事務局】

本当に切実な思いというか、我々も仕事していく中で感じているようなところを、今回ご意見  
としていただいた。

児童クラブというのは学校が終わってから預かる仕組みなので、給料が少ないというところ  
がある。男性がいないというのも構造的な問題で、我々も男性に入ってきていただけるといいな  
と期待をしているが、やはり応募がない。

児童クラブの職員の質のことについては、保護者の方から何度となく情報をいただいております、  
個別に対応したり、研修会を開いて対応したりしているところである。

多くの職員でやっていることもあり、なかなか手が届かないところもあるので、とにかく情報をお寄せいただきたい。

また、全てを児童クラブで預かるというのが一番理想的なものかもしれないが、やはり子どもの気持ちが一番大事だと思う。ほかに行く所がないし、友だちがそこにしかないから児童クラブへ行くのだということであれば、新たな子どもの居場所というものを創設してあげる必要があるのではないかと考えている。

そうすれば、児童クラブのほうも少し余裕が出てきて、もっと素晴らしい環境が整うのではないだろうか。これは、これからの課題であると思っている。

#### 【会長】

構造的なという言葉があったが、やはり難しい問題であると思う。もちろん、安全・安心が一番大事なところであるが、かといって、ずっと一日中、缶詰のようにそこに押し込めておけばいいかというわけにもいかないで、子どもたちの心理的な・身体的な発達のことを考えると、やはり、体は動かせるような、そういう環境は大事である。

そのためには、人も必要だし、場所も必要だということになってくるので、そこはぜひ、市のほうでこれから善処していただいて、子どもたちにとって、いい環境となるように、ぜひ、お願いをしたい。

## 4. その他

(1) ニーズ調査結果について（件数等報告）

#### 【事務局より説明】

- ・ 発送数 2, 000件
- ・ 回答期限 2月16日
- ・ 回収状況 2月20日現在、1, 043件（52.2%）
  - うち、就学前児童の保護者用 556件  
（インターネット版307件、紙媒体249件）
  - うち、小学生児童の保護者用 487件  
（インターネット版279件、紙媒体208件）

## 5. 副会長あいさつ

#### 【副会長】

ニーズ調査については、一年かけていろいろ関わってきたということもあるので、結果が出たら、中身を見せていただければと思う。

また、委員の改選があるとのことだが、この委員を離れたとしても、坂井市の子どもたちのために一緒に頑張っていきたいと考えているので、また、皆さんのご協力をお願いしたい。

## 6. 閉会